

西宮市立郷土資料館報

平成 26 年度 (2014)

目 次

- I 西宮市立郷土資料館の運営● p. 1
 - 1 常設展示○ p. 1
 - 2 特別展示○ p. 6
 - 3 特集展示○ p. 7
 - 4 特集陳列○ p. 7
 - 5 ミニ展示○ p. 8
 - 6 指定文化財公開○ p. 8
 - 7 教育普及○ p. 9
 - 8 共催・後援事業○ p. 12
 - 9 資料の収集・保存・調査・研究○ p. 16
 - 10 文化財調査ボランティア○ p. 19
- II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営● p. 21
 - 1 平成 26 年度利用状況○ p. 21
 - 2 教育普及○ p. 22
- III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則● p. 23

I 西宮市立郷土資料館の運営

1. 常設展示（平成27年3月31日現在）

西宮の歴史をテーマに、郷土のあゆみを実物資料・模型・ジオラマ・パネルなどによって視覚的・立体的に構成し、郷土の歴史・文化に関する知識と理解を深めることができるように展示した。

常設展示資料数

実物：231点、複製：9点、模型：4点、ジオラマ：1点、パネル：83点、こども向けパネル：15点、図：7点、写真：59点、年表：4点 合計：413点

(1) テーマ 西宮の歴史 西宮の歴史を概観し、その発展の過程を理解する。

(2) 展示

i わたくしたちのまち にしのみや

現在の西宮を代表する景観を、写真で紹介する。

<パネル>甲山（名勝地）／甲陽園目神山地区／教行寺太鼓楼／蓬莱峡（名勝地）／名次山（名勝地）／武田尾温泉（名勝地）／生瀬地区のだんじり／西宮神社苑地（名勝地）／武庫大橋／徳川大坂城東六甲採石場／漢織呉織伝承地（名勝地）／宮水地帯／御前浜（名勝地）／常夜灯型道標と西国街道／甲山八十八ヶ所

ii 西宮の地形

市域の地勢を、地形模型で紹介する。

<模型>1万分の1地形模型

iii 西宮の文化財

市域内の国・県・市の指定文化財を、写真で紹介する。

<パネル>神戸女学院／西宮神社嘉永橋／西宮神社瑞寶橋／西宮砲台／老松古墳／高畑町遺跡出土木製品／桜戸雑話／昌林寺阿弥陀像・観音像・勢至像／考古小録／西宮市の文化財一覧／慶長十年撰津国絵図／海清寺三門／松山大学温山記念会館／旧山本家住宅／クスノキ

自然史

西宮地方の成り立ちを、自然史の分野から概観する。

1 西宮の基盤

<実物>神戸層群の珪化木／有馬層群・流紋岩／甲山安山岩／六甲カコウ岩／丹波層群

<パネル>広い海の時代／火の海列島時代／甲山の誕生・神戸層群古地理図

2 西宮の誕生 I

<実物>神戸層群の植物化石／ラリックス層の植物化石（イラモミ／メタセコイヤ／チョウセンゴヨウ／エゴノキ／シリプトビン）／アカシゾウの牙／満池谷層の植物遺体包含層剥ぎ取り標本

<パネル>寒冷な時代／温暖な時代／マチカネワニ／アカシゾウ

3 西宮の誕生 II

<実物>沖積層／中位段丘の礫層／高位段丘の赤色泥／アズキ火山灰／大阪層群／丹波層群

<パネル>六甲山地の形成／航空写真／高位段丘／中位段丘／六甲山東麓から尼崎平野断面図

原始

原始・古代の人々の生活を、考古資料によって概観する。

<年表>先土器時代・縄文時代・弥生時代・古墳時代

<図>先土器時代地図／縄文時代遺跡分布図／弥生時代遺跡分布図（西撰）／古墳分布図（西撰）

<写真>西宮市苦楽園六番町出土ナイフ形石器／芦屋市岩ヶ平出土ナイフ形石器／宝塚市出土有舌尖頭器／芦屋市朝日ヶ丘遺跡出土石器／大阪市森の宮遺跡貝層／大阪市長原遺跡出土縄文土器／尼崎市田能遺跡出土弥生土器／芦屋市会下山遺跡遠景／西宮市津門出土銅鐸／宝塚市中山出土銅鐸／芦屋市会下山遺跡出土鉄器／宝塚市安倉古墳出土鏡／宝塚市万籟山古墳竪穴式石室／神戸市五色塚古墳／西宮市越水山遺跡竪穴住居跡／西宮市関西学院構内古墳／宝塚市白鳥塚家形石棺／宝塚市中山荘園古墳

4 稲作のはじまり

<実物>仁川高台遺跡出土遺物 6点／甲子園口遺跡出土遺物 3点／越水山遺跡出土遺物 3点

<複製>津門出土の銅鐸／銅戈

<パネル>弥生時代の集落／箕面市如意谷出土銅鐸／弥生時代の水田・石庖丁／青銅器出土地／越水山遺跡の竪穴住居・越水山遺跡の竪穴住居の炉跡／弥生時代竪穴住居内部推定図／銅鐸の鋳造

<こども向けパネル>いしぼうちょう／どうか

5 古墳文化の拡大 I

<実物>具足塚古墳出土遺物 48点

<パネル>具足塚古墳石室／具足塚古墳石室内部／具足塚古墳／関西学院構内古墳／関西学院構内古墳石室実測図／上ヶ原台地北半部の古墳

6 古墳文化の拡大 II

<実物>八十塚古墳群出土遺物 46点

<パネル>八十塚古墳群古墳位置図／八十塚古墳群／老松3号墳石室・苦楽園五番町5号墳石室／古墳から出土する須恵器

<こども向けパネル>みみかざり

古代・中世

社寺の文化遺産と地域との関わりを、歴史のながれの中で概観する。

<年表>

<写真>複弁蓮華文軒丸瓦（神呪寺）／木造如意輪観音坐像（神呪寺）／木造不動明王坐像（神呪寺）／淨橋寺梵鐘／善恵上人伝絵（淨橋寺）／虎関師鍊画像（茂松寺）／極楽寺弥陀石仏／淨橋寺石造五輪卒塔婆／淨橋寺石造五輪塔／西宮神社大練塀／公智神社神輿殿

7 神社仏閣が語るもの I

<複製>善恵上人伝絵

<パネル>公智神社神輿殿／西宮神社大練塀

8 神社仏閣が語るもの II

<実物>笠塔婆／石造五輪塔

<複製>弥陀石仏（極楽寺）

<パネル>宝篋印塔（西方寺）／石造五輪塔（淨橋寺）／石造七重塔（鷲林寺）

近世

江戸時代の西宮地方で発達した、産業・交通・文化の特質を概観する。

<年表>

<写真>西宮神社表大門／摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図（浄橋寺）／上総九十九里地引網大漁獵正写之図／酒づくり風景（「摂津名所図会」）／耕織図屏風／菱垣新綿番船川口出帆之図／新酒番船入津繁栄図／摂州名塩村の紙漉図（「筑紫紀行」）／西宮宿（「山崎通分間延絵図」）／越木岩神社のおかげ踊り図絵馬（越木岩神社）／今津灯台／摂海に入ったロシア軍艦ジアナ号／豊饒御蔭参之図

9 農・漁業の発達

<実物>上総九十九里地引網大漁獵正写之図／山海名産圖会 3点

<パネル>地曳き網の図

10 西宮・今津の酒造り

<実物>酒造道具の図を集めた本／名酒づくし／新撰銘酒寿語録

<複製>酒株札

<パネル>酒づくり風景（「摂津名所図会」）／酒造史年表／摂泉十二郷の地域図

<こども向けパネル>さけかぶふだ

11 名塩紙

<実物>青箔下間似合／カブタ土／玉子間似合／尼子土／銀箔打原紙／蛇豆土／箔下間似合／東久保土／漉舟株札／藩札 13点

<パネル>名塩の紙ができるまで／雁皮紙（泥土入）電子顕微鏡写真／純雁皮紙（生漉）電子顕微鏡写真／名塩の紙漉場

<ジオラマ>名塩の紙漉場

<こども向けパネル>なじおの土／はんさつ

12 西宮宿

<複製>行程記

<パネル>西宮の町場

<図>西宮宿之図

13 生瀬宿

<複製>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図

<パネル>摂州有馬郡生瀬村馬借村絵図解説

<模型>生瀬宿の町並み（30分の1）

<図>生瀬宿之図

14 灘酒の海上輸送と樽廻船

<実物>和磁石 5点／新酒番船入津繁栄図／船鑑札／新酒番船一番の杯／入船祝はっぴ

<複製>新酒番船一番札／鳥羽日和山方角石

<模型>樽廻船（20分の1）／今津灯台（10分の1）

<パネル>常夜灯／近世末期における主要航路図／輸送比較表／樽廻船（弁財船づくり）各部名称図

<こども向けパネル>たるかいせん／わじしゃく／さかづき／はっぴ

民俗

15～17 西宮の米づくりと年中行事

- <実物>くわ/すき/田植え用縄/田植え杵/からすき/田ぐつ/まぐわ/草取り器/がんづめ 2点/鎌 2点/千歯こき/万石通し/ふるい/箕/唐箕
- <パネル>西宮の米づくりと年中行事
- <こども向けパネル>まぐわ/がんづめ/とうみ

近・現代

産業・交通における近代化の状況と、明治時代後半から第2次世界大戦までの学校教育を、資料や教科書から概観する。

- <年表>
- <写真>大阪・神戸間の鉄道時刻表・運賃表/武庫郡今津学校/図/旧辰馬喜十郎住宅/旧辰馬喜十郎酒蔵/阪神電車開通の広告/阪急電車の開通 3点/甲東村住宅地の開発/今津発電所/完成間近の阪神甲子園球場/阪急西宮球場の開設/阪神武庫川線の三線軌条式線路/接収中の阪神甲子園球場/第19回全国選抜中等学校野球大会/上ヶ原文教住宅地区/武庫川団地
- <図>市域の拡大

18 近代化へのあゆみ

- <実物>苦楽園のはがき 9点/香櫨園のはがき 7点/甲陽園のはがき 15点
- <パネル>土地開発の進展
- <こども向けパネル>ウォーターシュート

19 教育の普及

- <実物>明治37年から昭和15年までに刊行された国定教科書 18点
- <パネル>明治30年代後半の小学校の様子(写真) 2点/就学児童数の変遷
- <こども向けパネル>きょうかしよ

(3) 平成26年度利用状況

a. 常設展示室入場者数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開館日数		26	28	25	17	27	21	27	26	24	23	24	26	294
個人入場者数		2,003	1,954	1,292	1,577	2,949	1,527	2,273	1,872	1,898	4,089	2,142	2,048	25,624
一般 団体	団体数	1	1	1	4	9	3	3	1	1	1	0	1	26
	入場者数	15	14	5	49	119	44	55	26	27	13	0	10	377
学 校 団 体	団体数	0	0	0	0	0	0	4	2	1	10	4	0	21
	入場者数	0	0	0	0	0	0	378	108	13	869	489	0	1,857
入場者数合計		2,018	1,968	1,297	1,626	3,068	1,571	2,706	2,006	1,938	4,971	2,631	2,058	27,858

b. 団体利用者一覧

一般団体

番号	月	日	団体名	人数
1	4	6	自然を歩く会	15
2	5	20	楽寿会	14
3	6	25	宮っ子編集担当	5
4	7	19	東灘愛ケアサポート	19
5	7	23	デイサービスつむぎ	11
6	7	24	あいケアセンター	11
7	7	31	浜脇デイサービス	8
8	8	5	浜脇デイサービス	9
9	8	8	浜脇デイサービス	10
10	8	9	特別展示展示解説会	7
11	8	15	親と子の郷土史講座	23
12	8	16	特別展示展示解説会	17
13	8	20	教員研修	16
14	8	24	ハウスの村	12
15	8	28	デイサービスつむぎ	17
16	8	29	尼崎市立文化財収蔵庫	8
17	9	9	花の峯山歩きの会	23
18	9	24	ひまわり会	15
19	9	24	安井デイサービス	6
20	10	5	ブロッサム	20
21	10	5	ウォーキンググループ	30
22	10	30	相模原市立藤野北小学校教職員県外研修	5
23	11	22	草津宿街道交流館	26
24	12	7	西宮まちたび博2014	27
25	1	16	大阪なにわ会	13
26	3	22	明德中学校 S33 年卒 1・7 会	10
			合計	377

学校団体

番号	月	日	団体名	人数
1	10	9	夙川小学校3年生	118
2	10	23	瓦木小学校3年生	90
3	10	31	北夙川小学校3年生	153
4	10	31	大手前大学博物館実習	17
5	11	20	大手前大学	11
6	11	27	苦楽園小学校3年生	97
7	12	17	西宮養護学校	13
8	1	20	平木小学校3年生	56
9	1	20	生瀬小学校特別支援学級	7
10	1	21	大社小学校3年生	123
11	1	21	安井小学校3年生	99

番号	月	日	団体名	人数
12	1	23	今津小学校3年生	72
13	1	23	深津小学校3年生	70
14	1	23	高須西小学校特別支援学級	12
15	1	28	上ヶ原南小学校3年生	87
16	1	29	浜脇小学校3年生	181
17	1	30	春風小学校3年生	162
18	2	4	高木小学校3年生	188
19	2	19	香櫨園小学校3年生	141
20	2	20	高須西小学校3年生	84
21	2	26	高須小学校3年生	76
			合計	1,857

団体合計：47団体・2,234人

c. その他の利用

資料特別利用数：37件・37人・資料数251点

資料貸出利用数：20件・531日間・資料数125点

(4) 臨時休館期間

期間	目的
平成26年7月8日(火)～7月18日(金)	特別展示設営のため
平成26年9月2日(火)～9月5日(金)	特別展示撤収・常設展示復旧のため

2. 特別展示

第30回 西宮の古文書-岡本家文書の世界-

平成26年7月19日(土)～8月31日(日) 午前10時～午後5時(開館日数：38日間)

総観覧者数：4,340人、一日平均観覧者数：114人

展示資料数：3,545点(御役附三ツ盃花月台/手鑑/花山院和歌短冊/尼崎領分絵図/御用留帳 81点/諸願奥印留帳 97点/諸証文案紙写帳/当要袋/諸奥印之留/郷付米請取鑑札/検地帳(上瓦林村)/高附帳/名寄帳 4点/明細書上帳 64点/免定写帳 115点/年貢免定(上瓦林村) 106点/御門通札 38点/御国役銀取集帳 3点/武庫川表普請願帳 35点/武庫川表御用向留帳 42点/武庫川表蔵人樋普請請仕法帳/樋方御普請願帳 10点/組中樋数改覚帳 12点/樋方山方人足割帳 26点/御城普請人足割留帳 21点/領分上ヶ知に関わる文書 11点/藩主大廻りに関わる文書 4点/大廻御用留帳 61点/御巡見御通行留帳 10点/御巡見御通行心覚/朝鮮通信使来朝に関わる文書 57点/象通行御用覚書 25点/大庄屋日記 51点/出勤録/勤役録/記録/万覚日記帳 2点/覚日記/旧記調/万覚帳 136点/農事之実録 2点/宗旨人別改帳 126点/人別送り状 1073点/宗旨請状 292点/他領人別出入帳 47点/船改帳(道意新田) 48点/船改帳(又兵衛新田) 32点/船改帳(浜田村) 55点/船改帳(中浜新田) 41点/船改帳(東新田村) 18点/する網船改帳(西新田) 5点/網打船改帳(道意新田) 3点/社寺改帳 5点/村用筆筭/古典籍(漢文) 90点/古典籍(謡曲本) 98点/古典籍(歴史詩歌類) 137点/俵/伊勢の札と串 382点/長栄講の札 8点/代参費領収書 8点/蹴鞠免状 12点/手本 7点/短冊 7点/句集/詞本/諸達綴 3点/幟(上瓦林村)/印鑑 6点/硯箱/砲術に関する文書 5点/大砲の図/古文書収納箱)

パネル：34点

キャプション：79点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事（全3回、参加人数のべ98人）

(1) 特別講演会

平成26年8月6日（水） 午後3時～4時30分

「大庄屋と村～古文書から読み解く地域社会～」志村洋氏（関西学院大学教授）

参加人数：74人

場所：西宮市立郷土資料館・集会室

(2) 展示解説会

平成26年8月9日（土） 午前10時～11時

参加人数：7人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

平成26年8月16日（土） 午前10時～11時

参加人数：17人

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

3. 特集展示

第44回 西宮地域の宗名人別帳

平成27年2月3日（火）～3月22日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：42日間）

総観覧者数：4,082人

<前期> 上瓦林村の宗名人別帳

平成27年2月3日（火）～2月22日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：18日間）

観覧者数：2,033人

展示資料数：10点 岡本家文書（上瓦林村宗名人別帳 9点（万治2年／寛文13年／宝永8年／正徳2年／正徳4年／享保17年／安永6年／安永7年／弘化4年）／宗名人別帳（岡本家） 安政6年）

タイトルパネル：1点（後期と共通）

パネル：7点（後期と共通 1点）

キャプション：11点

解説資料：2点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

<後期> 西宮町の宗名人別帳

平成27年2月24日（火）～3月22日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：24日間）

観覧者数：2,049人

展示資料数：11点 西宮市所蔵文書（西宮町宗名人別帳 11点（正徳3年／享保18年／明和6年／万延元年 4点／安政4年／天保2年／嘉永5年／嘉永6年）

タイトルパネル：1点（前期と共通）

パネル：5点（前期と共通 1点）

キャプション：21点

解説資料：1点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

4. 特集陳列

文化財をまもる～震災後の文化財保護20年の記録と展望

平成27年1月6日（火）～2月1日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：24日間）

観覧者数：5,031人

展示資料数：84点（高欄 2点／斗栱／手焙形土器／高杯／小形丸底壺／小形器台／直口壺 2点／二重口縁壺／広口壺 2点／椀（ツボ） 14点／椀（ツボ）のフタ 2点／吸物椀 6点／皿（農耕図） 3点／ワリコ 26点／ワリコのフタ 3点／朱吸物椀 5点／飯櫃／シャモジ 2点／湯トウ／盆／摂州武庫郡段上村新田名寄帳／惣百姓立会免割帳／百間通公事日記／拾九年度村費諸事控帳／地籍編製ニ付諸入費控簿（ママ）／溝渠堀浚人足割賦簿／拾九年度后六ヶ月舟渡受負金 戸數エ配當帳／營業税徴収控簿（ママ）

タイトルパネル：1点

写真パネル：4点

説明パネル：7点

キャプション：31点

サイン：2点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

5. ミニ展示

西宮市政ニュースコラム「とつとこ文化財」にあわせて開催した。

越木岩神社御陰踊り図絵馬パネル展

平成26年4月10日（木）～5月11日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：29日間）

観覧者数：2,140人

展示資料数：2点（大庄屋日記（岡本家文書）／御陰踊諸入用帳（鳥飼家文書）

パネル：8点（越木岩神社御陰踊り図絵馬 上新田／越木岩神社御陰踊り図絵馬 下新田）

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

6. 指定文化財公開

平成26年度 指定文化財公開展 西宮市指定史跡～古墳～

平成26年10月28日（火）～11月30日（日） 午前10時～午後5時（開館日数：30日間）

観覧者数：2,723人

展示資料数：140点（五ヶ山古墳群第2号墳（須恵器・平瓶／須恵器・杯／鉄鍬／鉄釘／金環／銀空玉／須恵器・台付盃／飾金具）／青石古墳（須恵器・杯／鉄釘）／老松古墳（須恵器・杯／耳環／須恵器・高杯／刀子／須恵器・長頸壺）／関西学院構内古墳（須恵器・杯／須恵器・埴／金環／滑石製勾玉／琥珀製棗玉／琥珀製管玉／水晶製切子玉／硝子製小玉／鉄製品）

写真パネル：18点

解説パネル：4点

各指定文化財の紹介パネル：4点

場所：西宮市立郷土資料館・常設展示室

関連行事（全2回、参加人数のべ32人）

(1) 古墳見学会

平成26年11月8日（土） 午前10時30分～午後0時

「青石古墳、ヨタノ谷古墳群」森下真企（当館職員）

参加人数：9人

平成26年11月15日（土） 午前10時～午後0時

「関西学院構内古墳、五ヶ山古墳群第2・3・4号墳、五ヶ山遺跡、五ヶ山西1号墳」森下真企（当館職員）

参加人数：23人

7. 教育普及

郷土の歴史と文化をより深く理解してもらうために、講座の開催・出版・広報などを行った。

(1) 講座・見学会

a. 第30回 親と子の郷土史講座（全5講座、参加人数のべ82人）

平成26年8月15日（金） 午前10時～11時30分

「縄文土器を作ろう」梅木紀男先生（大社小学校）・菅原雅史先生（瓦林小学校）

参加人数：18人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年8月15日（金） 午後1時30分～3時

「通行手形を作ろう」俵谷和子（当館職員）

参加人数：18人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年8月17日（日） 午前10時～11時30分

「西宮のもう一つの顔 山口町」小山修治郎先生（北夙川小学校）

「山口町伝統の竹細工を作ろう」西本英典先生（上ヶ原小学校）・中直代氏・中千恵子氏・橋本紀子氏

参加人数：19人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年8月17日（日） 午後1時30分～3時

「和綴じ本を作って和本を知ろう」西岡健児先生（甲東小学校）・村田真吾先生（上甲子園小学校）・西宮市立図書館司書

参加人数：22人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年8月19日（火） 午前10時～11時30分

『わたしたちの西宮』を歴史的に見よう！～給食にも西宮の歴史が使われています～ 國村真先生・宮崎麻貴先生（生瀬小学校）

参加人数：5人

場所：西宮市立浜脇公民館・実習室

b. 歴史ウォーク

平成26年11月2日（日） 午前9時30分～午後3時

魅力再発見西国街道リレーウォーク「北伊丹・昆陽宿から西宮宿へ」（第36回西宮市立郷土資料館歴史ハイキング）

参加人数：26人

見学場所：辻の碑・道標／史跡「伝和泉式部墓」／道標「すぐ中山 ありま」／道標「すぐ中山 小濱」／稲野村道路原標／長勢橋／昆陽宿（説明版）／昆陽寺／関伽井跡／道標「左妙見／中山」／師直塚／髭茶屋（説明版）／極楽橋／道標「厄神明王道」／道標「厄神明王社」／「御輿屋伝承地碑」／海清寺三門／常夜灯型道標／西宮神社

c. 西宮市立郷土資料館・宮水学園自主グループ「ミレニアム2000西宮」共同開催 歴史講座（全4回、参加人数のべ218人）

平成26年4月23日（水） 午後1時30分～3時

第30回「西宮発掘調査速報-発掘調査からみた西宮地域史の課題-」森下真企（当館職員）

参加人数：40人

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年8月6日(水) 午後1時30分～3時

第31回「尾崎城門の通行手形-岡本家文書でみる『御門通札』の発行と変遷」 衛藤彩子(当館職員)

参加人数: 74人

場所: 西宮市立郷土資料館・集会室

平成26年10月15日(水) 午後1時30分～午後3時10分

第32回「今津の酒造家・小豆嶋屋」 細木ひとみ(当館職員)

参加人数: 59人

場所: 西宮市立郷土資料館・講座室

平成26年12月17日(水) 午後1時30分～午後3時15分

第33回「西宮の橋を調べる-橋と川の郷土史-」 早栗佐知子(当館職員)

参加人数: 45人

場所: 西宮市立郷土資料館・講座室

(2) 印刷・出版

- a. 『行事予定表』
- b. 『西宮の古文書-岡本家文書の世界-』(西宮市立郷土資料館第30回特別展示案内図録)
- c. 『特別展示ポスター』
- d. 『特別展示チラシ』
- e. 『西宮歴史調査団年報 2013年度版』
- f. 『西宮歴史調査団ニュース』第2号
- g. 『西宮市立郷土資料館報 平成25年度(2013)』
- h. 『収蔵資料目録』第七集
- i. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第40号
- j. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第41号
- k. 『西宮市立郷土資料館ニュース』第42号
- l. 『親と子の郷土史講座チラシ』
- m. 『親と子の郷土史講座講義資料集』

(3) 広報

a. 西宮市政ニュース

一般広報(4/10号、7/25号、8/10号、8/25号、9/25号、10/10号、11/10号、12/10号、1/1号、1/25号、2/10号、2/25号、3/10号)

コラム「とっとこ文化財」(協力)(4/10号、5/10号、6/10号、8/10号、11/10号)

b. インターネット

西宮市インターネットサイト内に「歴史と文化財」として、郷土資料館および文化財に関する情報ページを運営した。

c. ケーブルテレビ

「The 文化財探訪」(「広田神社のコバノミツバツツジ」5月26日/「ユニークな天然記念物」6月23日/「山口町に残る文化財」9月22日/「越木岩神社」10月27日/「西宮の古墳」11月24日/「西宮の建築(前編)」12月22日/「西宮の建築(後編)」1月26日/「明治時代の酒蔵」3月23日)

d. ラジオ

さくらFM「歴史と文化の散歩道」(「西宮の名勝地「御前浜」」5月11日/「西宮の名勝地「西宮神社苑池」」5月18日/「西宮の名勝地「名次山」」6月15日/「西宮の名勝地「漢織具織伝承地」」6月22日/「西宮の名勝地「甲山」」6月29日/「西宮の名勝地「神戸女学院」」7月6日/「特別展示「西宮の古文書-岡本家文書の世界-」」7月20日/「特別展示「西宮の古文書-岡本家文書の世界-」Part2」8月24日/「「節分」について」2月1日/「特集展示「西宮地域の宗旨人別帳」について」2月8日/「「西宮市立郷土資料館」について」3月29日)、「聞いてなるほど!西宮市政」(「西宮の名勝地について」6月19日、「第30回特別展示西宮の古文書-岡本家文書の世界-」7月16日)、「cafe@さくら通り」(8月25日)

(4) 職員の出講事業

派遣先	講座名	出講日	講師名
関西大学	博物館実習	平成26年4月～平成27年3月	合田茂伸
関西大学	博物館展示論	平成26年4月～平成26年9月	西川卓志
関西大学	テーマ研究I(回想法)	平成26年4月～平成26年9月	西尾嘉美
宮崎市民プラザ	日本民俗建築学会第41回大会「有形民俗文化財(古民家・民具)の活用に関する試論」	平成26年5月17日	西尾嘉美
日本考古学協会	「徳川大坂城東六甲採石場測量調査の成果と課題-3Dレーザー測量を使用した甲山G地区の調査-」	平成26年5月18日	合田茂伸・森下真企
鳴尾図書館	撰津名所図会を読む	平成26年8月～平成27年2月	俵谷和子・山田暁
西宮神社社会館	西宮の天然記念物と社叢林	平成26年6月27日	合田茂伸
大学交流センター	宮水学園『西宮ふるさと民話』を読み解く	平成26年7月9日	西川卓志
教育研修課	第2回社会科教育研修「歩こう知ろう西宮」	平成26年7月29日	西川卓志
教育研修課	第5回社会科教育研修「歩こう知ろう西宮」	平成26年8月20日	西川卓志
西宮まちたび博	古代から近世をたどろう「津門中道(中国街道)」を歩く	平成26年10月19日	合田茂伸・俵谷和子
西宮今津高等学校	美術鑑賞研究	平成26年10月22日	合田茂伸
西宮今津高等学校	美術鑑賞研究	平成26年11月6日	合田茂伸
小豆島ふるさと村セミナーハウス(ワインハウス)	(公財)小豆島法人会主催講演会「江戸期における西宮の廻船と小豆島との関わり」	平成26年11月14日	細木ひとみ
吹田市立博物館	西国街道リレートーク～つながるローカル街道の魅力～「西宮のローカル街道-甲山かんのん道と厄神道」	平成26年9月3日	俵谷和子
西宮まちたび博	西宮ストーリーダイブ 西宮の知られざる神話と伝説 「古代寺院」をめぐる	平成26年11月22日	合田茂伸・俵谷和子・早栗佐知子
西宮市立越木岩公民館	越木岩・苦楽園・鷲林寺地域の今昔と文化財	平成26年11月25日	西川卓志
鳴尾図書館	公開インタビュー「岡太神社宮司に聞く」	平成26年11月30日	西尾嘉美
西宮まちたび博	知り尽くすシリーズ第3弾 「千年のまち」西宮の名勝地を知り尽くす	平成26年12月7日	合田茂伸・俵谷和子
武庫川女子大学	第5回阪神つながり交流祭2014 in 武庫川女子大学「郊外生活のすすめ」	平成26年12月21日	合田茂伸
尼崎市立婦人センター	HSCマイスターゼミナール講座「西国街道今昔ものがたり」	平成27年1月8日	合田茂伸

派遣先	講座名	出講日	講師名
小松校区県民広場	鳴尾の歴史について	平成27年2月7日	合田茂伸
大阪府立弥生文化博物館	もしよかったら聴いてみませんか!? 若き考古学徒、論壇デビュー! 「技術的变化からみた竪穴式石槨の定型化と分布的検討」	平成27年2月7日	山田暁

8. 共催・後援事業

(1) 講座・講演会

a. (公財) 黒川古文化研究所 夏季講座 (全4講座、参加人数のべ220人)

第60回夏季講座「シルクロードの宗教と美術」

平成26年7月26日(土) 午前9時30分～午後0時30分

「海のシルクロード-陶磁器・宗教を中心に-」森達也氏(愛知県陶磁美術館学芸課長)

「仏教美術の東西交流-敦煌を中心に-」百橋明徳氏(神戸大学名誉教授)

参加人数: 112人

場所: 西宮市立勤労会館ホール

平成26年7月27日(日) 午前9時30分～午後0時30分

「ゾロアスター教の死生観-中国出土のソグド石刻画像-」曾布川寛氏(黒川古文化研究所所長・京都大学名誉教授)

「中国江南のマニ教絵画とシルクロードのマニ教」吉田豊氏(京都大学大学院文学研究科教授)

参加人数: 108人

場所: 西宮市立勤労会館ホール

b. 西宮市内博物館等連携講座(全11回、参加人数のべ505人)

平成26年9月17日(水) 午後1時30分～3時

第18回「円山応挙(1733～1795)が描こうとしたもの-江戸時代の絵画にみる合理性-」杉本欣久氏(黒川古文化研究所研究員)

参加人数: 32人

場所: 大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成26年10月15日(水) 午後1時30分～3時

第19回「銅鑿絵画の世界観」青木政幸氏(辰馬考古資料館学芸員)

参加人数: 59人

場所: 大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成26年11月12日(水) 午後1時30分～3時

第20回「舟形石棺と埋葬施設の関連性について」山田暁(当館職員)

参加人数: 63人

場所: 大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成26年11月26日(水) 午後1時30分～3時

第21回「西宮市山口町の袖下踊りと伝説」俵谷和子(当館職員)

参加人数: 31人

場所: 大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成26年12月10日(水) 午後1時30分～3時10分

第22回「絵画にみる中国の酒文化」竹浪遠氏(黒川古文化研究所研究員)

参加人数:32人

場所:大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成26年12月17日(水) 午後1時30分～3時

第23回「日本史の中の酒造史-江戸時代を中心に-」大浦和也氏(白鹿記念酒造博物館学芸員)

参加人数:24人

場所:白鹿記念酒造博物館・講座室(鞍掛町8-21)

入館料:400円

平成27年1月14日(水) 午後1時30分～3時15分

第24回「猪名川に微笑み仏をのこした木喰上人は」水野正好氏(辰馬考古資料館館長・奈良大学名誉教授)

参加人数:62人

場所:大手前大学メディアライブラリーCELL・フォーラム(御茶家町6-42)

資料代:500円

平成27年2月4日(水) 午後1時30分～3時

第25回「日中の工芸意匠における雲の表現とその変遷」川見典久氏(黒川古文化研究所研究員)

参加人数:48人

場所:大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成27年2月18日(水) 午後1時30分～3時

第26回「天下普請を支えた採石丁場」森下真企(当館職員)

参加人数:65人

場所:大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成27年3月4日(水) 午後1時30分～3時

第27回「戦国史研究と家譜資料-黒田孝高と『黒田家譜』-」小林基伸氏(大手前大学教授・史学研究所所長)

参加人数:55人

場所:大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

平成27年3月18日(水) 午後1時30分～3時

第28回「文化財の三次元計測」岡本篤志氏(大手前大学史学研究所研究員)

参加人数:34人

場所:大手前大学史学研究所オープンリサーチセンター・R33(郷免町8-17)

c. (公財)辰馬考古資料館 講演会

平成26年11月29日(土) 午後1時30分～3時20分

「発見から50年 国宝桜ヶ丘銅鐸・銅戈」橋詰清孝氏(神戸市立博物館学芸員)

参加人数:49人

場所:西宮市立郷土資料館・講座室

d. 西宮市立北口図書館・郷土資料館連携講座

平成26年11月14日(金) 午後2時～3時30分

「市民が語る「西宮いまむかし物語」@にしきた」

第2回「西宮神社の石燈籠に誘われて～私が千葉まで旅した“わけ”！～」衣笠周司氏(西宮歴史調査団)・俵谷和子(当館職員)

参加人数：35人

場所：西宮市立北口図書館・AVホール(西宮市北口町1-2)

平成27年3月26日(木) 午後1時30分～2時50分

「歴史・訪ね・歩き@にしきた～西宮歴史調査団の成果～」

参加人数：36人

場所：西宮市立北口図書館・AVホール(西宮市北口町1-2)

e. 西宮市北部図書館・郷土資料館連携講座

平成26年10月25日(土) 午前10時～11時30分

北部図書館市民歴史講座「平安貴族の有馬紀行」曲江三郎氏(西宮歴史調査団)

参加人数：17人

場所：塩瀬公民館・第3・4集会室(名塩新町1番地)

f. 西宮市立鳴尾図書館・郷土資料館連携講演会

平成26年6月28日(土) 午前10時30分～午後0時15分

第2回「武庫川・鳴尾・甲子園～甲子園前史」合田茂伸・衛藤彩子(当館職員)

参加人数：46人

場所：西宮市立鳴尾図書館・視聴覚室(甲子園八番町1-20)

(2) 展覧会

a. (公財) 白鹿記念酒造博物館

平成26年3月19日(水)～5月26日(月)

春季特別展 笹部さくらコレクション「暮しの中にみる桜」

観覧者数：3,711人

場所：白鹿記念酒造博物館・記念館(鞍掛町8-21)

b. (公財) 黒川古文化研究所

平成26年4月19日(土)～5月18日(日)

第111回展覧「松-美と徳の造形-」

観覧者数：783人

場所：黒川古文化研究所・展示室(苦楽園三番町14-50)

平成26年10月18日(土)～11月16日(日)

第112回展覧「円山応挙の門人たち」

観覧者数：942人

場所：黒川古文化研究所・展示室(苦楽園三番町14-50)

c. 阪神・淡路大震災20年事業「地震と文化財の保護」事業実行委員会

平成26年11月8日(土)～平成27年3月31日(火) 午前10時～午後5時

巡回パネル展「震災と文化財」

西宮市実施期間:平成26年12月23日(火)～平成27年1月11日(日) 午前10時～午後5時(開館日数:12日間)

観覧者数:863人

場所:西宮市立郷土資料館・常設展示室

d. 兵庫県立西宮今津高等学校

平成27年2月10日(火)～2月15日(日)

高校生がつくる・連携してつくる・学びの展覧会

一枚の風景画・高校生・学びの旅～昭和42年に描かれた『西宮十六景』からはじまる探究の課程～

場所:西宮市立市民ギャラリー3F(川添町15-26)

e. 西宮市立図書館

平成26年10月3日(金)～11月5日(水) 午前10時～午後6時(開館日数:29日間)

パネル展「郷土史を学ぶ」

場所:西宮市立中央図書館・エントランス(川添町15-26)

平成27年2月6日(金)～3月1日(日) 午前10時～午後6時(開館日数:21日間)

パネル展「郷土史を学ぶ-鳴尾地区-」

場所:西宮市立鳴尾図書館・視聴覚室(甲子園八番町1-20)

関連行事

パネル展示の開催にあわせて調査成果ミニ報告を行った。

平成27年2月22日(日) 午前11時～11時30分

「鳴尾地区の石造物」俵谷和子(当館学芸員)

参加人数:6人

場所:西宮市立鳴尾図書館・視聴覚室(甲子園八番町1-20)

平成27年3月6日(金)～3月22日(日) 午前10時～午後6時(開館日数:15日間)

パネル展「郷土史を学ぶ-北部地区-」

場所:西宮市立北部図書館・閲覧室(名塩新町1番地)

(2) その他

a. ひょうごミュージアムフェア実行委員会

平成26年10月4日(土)～10月5日(日) 午前10時～午後4時

ひょうごミュージアムフェア2014「絵図を組み立ててみよう・オリジナル藩札をつくろう」

参加人数:245人

場所:神戸ハーバーランド・スペースシアター(神戸市中央区東川崎町1-2-1)

9. 資料の収集・保存・調査・研究

(1) 収蔵資料の概要 (合計 : 38,140 点)

	民俗資料	教育史資料	考古資料	歴史資料	戦時生活資料	合計
平成25年度まで	8,669	17,166	638	10,294	958	37,725
平成26年度寄贈	84	0	303	14	6	407
平成26年度購入	0	0	0	8	0	8
平成26年度制作	0	0	0	0	0	0
累計	8,753	17,166	941	10,316	964	38,140

a. 購入資料

歴史資料

絵はがき (神戸女学院講堂) / 武田尾図絵巻 / 西宮鳥瞰図 / 絵はがき 4点 (袋 / 蓬莱峡 (国立公園) / 西宮神社 (全国戎神の総本社) / 甲子園球場) / 西宮市観光絵はがき

b. 寄贈資料

民俗資料

包装袋 (生蠟燭 4点 / 高野豆腐 / 薄雲 / 煎餅 / 金米糖 / 御菓子 3点 / 氷砂糖 3点 / 黒砂糖 / 三盆白砂糖 8点 / 白砂糖 5点)、包装紙 / 商標札 19点 / ザル 2点 / 結納品目録 / 着物 (白無垢) / 帯 3点 / 帯揚げ / 帯締め / 訪問着 / 留め袖 / 羽織 / 喪服 / 道行きコート / 笥迫 2点 / 櫛 / 花飾り / 末広 (扇子) / 角かくし御張はし / かんざし / 盆 2点 / 袱紗 / 風呂敷 2点 / 筆入れ / 羽子板 / 衣桁 2点 / 宣徳火鉢 / 鯨尺 2点 / 梅干し壺 / 金ダライ / コンテナ

考古資料

石鎌 98点 / 石匙 4点 / 石斧 19点 / 尖頭器 4点 / 石製勾玉 / 石錘 / 石器 65点 / 鉄鎌 9点 / 鉄器 3点 / 鉄片 2点 / 土師器 4点 / 須恵器 10点 / 陶磁器 10点 / 土錘 / 土器 4点 / 土器片 / 円筒埴輪 / 埴輪棺 / 平瓦 / 古鏡 / 鏡 / 寛永通宝 / 古銭 / 骨器 / 土面 2点 / 化石 48点 / 岩石 9点

歴史資料

広告 (チラシ) 11点 / 大阪毎日新聞 (明治32年2月20日) / 包装紙 (依田電気店) / アメリカ博パンフレット

戦時生活資料

退役記念盃 (陶製) 3点 / 近衛歩兵第一連隊除隊記念盃 (木製) / 輜四転営並第五九回創立記念盃 (木製) / 盃 (木製)

(2) 図書を寄贈いただいた機関

青森県立郷土館、明石市立天文科学館、明石市立文化博物館、赤穂市立美術工芸館 田淵記念館、赤穂市立歴史博物館、尼崎市立田能資料館、尼崎市立地域研究史料館、綾部市資料館、池田市立歴史民俗資料館、泉大津市立織編館、板橋区立郷土資料館、伊丹市立博物館、一宮市博物館、市立市川考古博物館、岩手県立博物館、植村直己冒険館、宇治市歴史資料館、越前市史編さん委員会、愛媛県歴史文化博物館、大分市歴史資料館、大阪市立住まいのミュージアム (大阪くらしの今昔館)、大阪府立近つ飛鳥博物館、大阪府立弥生文化博物館、大阪歴史博物館、太田区立郷土博物館、大津市歴史博物館、大山崎町歴史資料館、小野市立好古館、香川県立ミュージアム、鹿児島大学総合研究博物館、柏原市立歴史資料館、神奈川県立歴史博物館、関西大学博物館、北九州市立自然史・歴史博物館、九州国立博物館、京都府京都文化博物館、京都府立山城郷土資料館、虚子記念文学館、草津市立草津宿街道交流館、熊本市立熊本博物館、呉市海事歴史科学館 (大和ミュージアム)、神戸市立小磯記念美術館、神戸市立博物館、神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館、神戸深江生活文化史料館、(独) 国立科学博物館、(独) 国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館、国立歴史民俗博物館、斎宮歴史博物館、埼玉県立川の博物館、静岡県立登呂博物館、宍粟市歴史資料館、吹田市立博物館、世田谷区立郷土資料館、泉屋博古館、太子町立歴史資料館、高槻市立今城塚古代歴史館、高槻市立しろあと歴史館、(公財) 竹中大工道具館、但馬国府・国分寺館、たつの市立龍

野歴史文化資料館、館山市立博物館（千葉県立安房博物館）、鉄斎美術館、天理大学附属天理参考館、（公財）東京都江戸東京博物館、同志社大学歴史資料館、長野市立博物館、名古屋市博物館、奈良県立民俗博物館、南丹市日吉町郷土資料館、南丹市立文化博物館、新潟市歴史博物館、西宮市貝類館、西脇市郷土資料館、日本大学文理学部資料館、（公財）日本のあかり博物館、沼津市明治史料館、沼津市歴史民俗資料館、播磨町郷土資料館、半田市立博物館、彦根城博物館、姫路市書写の里・美術工芸館、姫路市立美術館、姫路文学館、兵庫県立考古博物館、兵庫県立美術館、兵庫県立人と自然の博物館、兵庫県立歴史博物館、兵庫陶芸美術館、平塚市博物館、広島県立歴史民俗資料館、福岡市博物館、福岡町立神崎郡歴史民俗資料館、府中市郷土の森博物館、パナソニック汐留ミュージアム、みくに龍翔館、向日市文化資料館、明治大学博物館、山崎記念中野区立歴史民俗資料館、立命館大学国際平和ミュージアム、龍谷大学 龍谷ミュージアム、歴史館いづみさの、和歌山県立博物館、和歌山県立文書館、和歌山市立博物館

（公財）アイヌ文化振興・研究推進機構、芦屋ミュージアム・マネージメント、安宅荘中世城郭発掘調査委員会、泉大津市制施行70周年記念写真集製作委員会、（福）一陽会、（公財）岩手県文化振興事業団、（一財）宇治市文化財愛護協会、（公財）大阪市博物館協会大阪府文化財センター、（公財）大阪市博物館協会大阪文化財研究所、大阪大学埋蔵文化財調査委員会、大手前大学史学研究所、岡山県古代吉備文化財センター、お茶の水女子大学学芸員課程、神河町文化財活性化委員会、香美町ふるさと教育推進委員会、香美町歴史文化遺産活性化実行委員会、（公財）元興寺文化財研究所、関西大学東西学術研究所、関西大学図書館、かんさい・大学ミュージアム連携実行委員会、関西学院大学史学会、関西学院大学博物館開設準備室、京都大学大学院文学研究科考古学教室、京都橘大学文学部、（公財）京都府埋蔵文化財調査研究センター、近畿民具学会、宮内庁書陵部、（公財）黒川古文化研究所、甲南大学文学部、（学）神戸女学院、神戸女学院大学大学院、神戸女学院大学大学院人間科学研究科、神戸女子大学古典芸能研究センター、神戸女子大学史学科、神戸女子大学史学会、神戸女子民俗学会、神戸大学大学院海事科学研究科、神戸大学大学院人文学研究科、神戸大学大学院人文学研究科地域連携センター、國學院大學博物館学研究室、國學院大學文学部考古学研究室、（独）国立文化財機構奈良文化財研究所、（独）国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター、（大）滋賀県立大学人間文化学部、滋賀民俗学会、昭和館、全国古代体験フェスティバル実行委員会、全史協東海地区協議会事務局、宝塚の古文書を読む会、たつの市立埋蔵文化財センター、（公財）東京都スポーツ文化事業団東京都埋蔵文化財センター、東邦大学付属東邦高校東邦考古学研究会、東北大学大学院文学研究科東洋・日本美術史研究室、豊橋市美術博物館友の会、（公財）長岡京市埋蔵文化財センター、奈良大学文学部文化財学科、新潟市文化財センター、西宮歌人協会、西宮古文書を読む会、西宮神社、西宮文化協会、日本海史学会、（一財）日本考古学協会、（公財）日本博物館協会、（公財）日本文化財保護協会、日本民具学会、（公社）日本ユネスコ協会連盟、花園大学史学会、播磨町ふるさとの先覚者顕彰会、（公財）阪急文化財団、美術館連絡協議会事務局、姫路市立城郭研究室、（公財）兵庫県まちづくり技術センター、兵庫県歴史文化遺産活用活性化実行委員会、（公財）枚方市文化財研究調査会、福井県教育庁埋蔵文化財調査センター、福岡県教育庁埋蔵文化財調査センター、（株）文化環境研究所、文化庁文化財部記念物課、松坂市文化財センター、むこうまち歴史サークル、（公財）八尾市文化財調査研究会、大和文華館、楽浪文化財修理所、立命館大学文学部、（財）和歌山市都市整備公社、（公財）和歌山市文化スポーツ振興財団
縣市町村及び教育委員会（明石市、赤穂市、朝来市、芦屋市、尼崎市、綾部市、池田市、泉佐野市、和泉市、板橋区、伊丹市、猪名川町、うきは市、越前市、大阪狭山市、岡山県、小野市、御前崎市、貝塚市、海南市、橿原市、かつらぎ町、神河町、上郡町、香美町、河内長野市、川西市、上牧町、岸和田市、北九州市、京田辺市、神戸市、御所市、堺市、篠山市、里庄町、四条畷市、吹田市、世田谷区、仙台市、泉南市、太子町、大東市、高岡市、高砂市、多可町、高槻市、田尻町、たつの市、丹波市、鳥取県、豊岡市、豊中市、富田林市、長岡京市、新潟市、西宮市、能勢町、姫路市、兵庫県、枚方市、平塚市、福岡市、福岡町、福山市、藤井寺市、米原市、松阪市、松原市、三木市、三豊市、南あわじ市、向日市、宗像市、八尾市、野洲市、八頭町、和歌山県）

(3) 調査・研究

a. 収蔵資料の調査研究

民俗資料の分類整理作業

歴史資料（古文書）の整理作業

教育史資料の分類整理作業

考古資料（高畑町遺跡出土遺物）の整理作業

b. 専門分野の調査研究

民間信仰（講）の調査研究

祭礼に関する調査研究

漁具に関する調査研究

尼崎藩大庄屋に関する研究

宗旨人別帳（西宮町、上瓦林村）の調査研究

徳川大坂城東六甲採石場に関する調査

生瀬地区の文化遺産に関する調査研究

(4) 収蔵資料の燻蒸処理

侵入昆虫の実態調査と有害生物除去のため、展示室および収蔵庫の燻蒸を下記の通り行った。

a. 侵入昆虫の実態調査

場所：常設展示室、第1・第2・第3・第4収蔵庫、事務室等

実施日：平成27年3月23日（月）～平成27年3月30日（月）

内容：歩行昆虫用トラップによる捕捉

b. 燻蒸処理（歴史資料、民俗資料、古文書、教科用図書等）

場所：常設展示室、第1・第2・第3・第4収蔵庫

実施日：平成27年3月30日（月）

使用薬剤：ブンガノン、ライセント

10. 文化財調査ボランティア（西宮歴史調査団）

(1) 調査活動（登録者23人、のべ468人、124日 ただし個人活動は除く）

平成18年度より行っている市民主体の資料調査事業である。1年間を通して活動し、月1回の定例会を行うとともに、参加者が3班に分かれ市内の調査を進めた。班を重複した参加者もいた。平成26年度からは、生瀬地区文化遺産総合調査に参加している。

a. 石造物調査班

西宮神社に伝わる石造物について、所在、法量、材質、銘などを調査し、記録した。

調査員数：10人

b. 橋梁調査班

西川・畑川・名塩川をはじめ市内の9河川に架かる橋梁の現況や名称の由来等を調査し、記録した。

調査員数：5人

c. 古文書調査班

旧西宮町の宗旨人別帳を調査し、記録した。

調査員数：10人

(2) 定例会（全11回、参加人数のべ167人）

4月定例会 平成26年4月12日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：団員の顔合わせ、自己紹介

参加人数：18人

5月定例会 平成26年5月10日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：ガイダンス（「文化財とは—古い「モノ」から文化「財」へ」、「石造物調査の基礎について」）

参加人数：17人

6月定例会 平成26年6月14日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：ガイダンス（「調査における写真の覚書」、「古文書調査の基礎について」）

参加人数：17人

7月定例会 平成26年7月12日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：ガイダンス（「調査写真を実際に撮ってみよう」、「橋梁調査の基礎について」）

参加人数：17人

8月定例会

内容：台風11号の発生により、実施しなかった。

9月定例会 平成26年9月13日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：橋梁班調査報告

参加人数：17人

10月定例会 平成26年10月11日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：石造物班調査報告

参加人数：14人

11月定例会 平成26年11月8日（土） 午前10時30分～午後0時

内容：青石古墳・ヨタノ谷古墳群見学

参加人数：6人

12月定例会 平成26年12月13日（土） 午前9時30分～午後0時

内容：古文書班調査報告

参加人数：16人

- 1月定例会 平成27年1月10日(土) 午前9時30分～午後0時
内容：特集陳列「文化財をまもる～震災後の文化財保護20年の記録と展望～」見学・解説
参加人数：16人
- 2月定例会 平成27年2月14日(土) 午前9時30分～11時30分
内容：特集展示「西宮地域の宗門人別帳～上瓦林村の宗門人別帳(前期)」見学・解説
参加人数：14人
- 3月定例会 平成27年3月14日(土) 午前9時30分～午後0時
内容：平成26年度活動報告会、平成27年度団員登録会
参加人数：15人

(3) その他活動

a. お地藏さまサミット

「お地藏さまサミット」(京都の「地藏」信仰と地藏盆を活かした地域活性化事業実行委員会主催)に参加し、西宮歴史調査団の活動紹介を行った。

平成27年2月22日(日) 午前9時～午後5時30分

「トークセッション」栗野光一氏、高橋博己氏(西宮歴史調査団)、細木ひとみ(当館職員)

場所：キャンパスプラザ京都 2階ホール・4階第2講義室(京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路939)

b. 西宮市立図書館との連携事業

西宮市立図書館と連携し、講座・パネル展示を行った。事業名は以下の通り。(詳細は「8. 共催・後援事業」)

「市民が語る「西宮いまむかし物語」@にしきた」

「歴史・訪ね・歩き@にしきた～西宮歴史調査団の成果～」

北部図書館市民歴史講座「平安貴族の有馬紀行」

パネル展示「郷土史を学ぶ」／「郷土史を学ぶ―鳴尾地区―」／「郷土史を学ぶ―北部地区―」

c. 平成26年度活動報告パネル展

平成27年3月10日(火)～平成27年3月29日(日)

「歴史調査団2014年の活動」

場所：西宮市立郷土資料館・展示室前

d. 平成26年度活動報告会・平成27年度団員登録会

平成27年3月14日(土) 午前9時30分～午後0時

参加人数：34人(調査団員15人、一般参加者19人)

場所：西宮市立郷土資料館・講座室

e. 西宮歴史調査団年報

『西宮歴史調査団年報 2013年度版』平成27年3月31日発行

f. 西宮歴史調査団通信

毎月定例会に発行し、西宮歴史調査団員に配布した。また、郷土資料館事務所前に掲示した。

g. 西宮歴史調査団ニュース

『西宮歴史調査団ニュース』第2号 平成26年10月3日発行

内容：「西宮町宗門帳をもとにした人口などの集計の試み」、「西宮町宗門帳に記載された旦那寺について」

II 郷土資料館分館名塩和紙学習館の運営

伝統産業である「名塩紙」（国指定・兵庫県指定無形文化財）への理解を深めることを目的に、常設展示室において関連資料の展示を行うとともに、紙すき実習の指導を行った。なお、和紙学習館の運営にあたっては、その一部を名塩和紙学習館紙すき推進委員会に委託した。

1. 平成26年度利用状況

(1) 紙すき体験学習

事前に申し込みのあった団体に、専門の指導員が実習の指導を行った。

紙すき実習利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者総数	77	434	402	73	38	598	763	481	273	224	245	14	3,622
学校利用者数	0	413	402	0	0	577	758	430	273	197	218	0	3,268
一般利用者	77	21	0	73	38	21	5	51	0	27	27	14	354

(2) 常設展示

名塩紙の特徴やその歴史を深く理解してもらうため、紙すき道具や製品を展示するとともに、実際に紙をすく様子を撮影したVTRを映写し、観覧者の学習に供した。

展示室入場者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
入場者総数	19	34	30	93	46	36	65	70	48	4	8	13	466
市内入場者数	6	9	11	53	16	9	55	66	15	2	2	2	246
市外入場者数	13	25	19	40	30	27	10	4	33	2	6	11	220

(3) 利用料金等

a. 実習指導負担金（市外の方は倍額 別途材料費）

10人～16人の団体：11,000円

17人～24人の団体：13,500円

25人～40人の団体：16,000円

b. 施設使用料等（上段：施設使用料、下段：冷暖房費、市外の方は倍額）

使用区分	実習室	集会室
9時～12時	1,000円	1,000円
	200円	200円
12時30分～17時	1,300円	1,300円
	260円	260円

2. 教育普及

少人数による和紙学習館利用を促進するため、郷土資料館紙すき教室を隔月で実施した。また、名塩紙の理解をより深めるため、原料の調整から紙すきまで全体を学習する実習講座を実施した。

(1) 郷土資料館紙すき教室

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館実習室

参加人数：のべ34人

- 第1回 平成26年5月11日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：3人
- 第2回 平成26年7月13日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：7人
- 第3回 平成26年9月14日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：21人
- 第4回 平成26年11月9日（日）午後1時30分～3時30分 参加人数：3人

(2) 名塩和紙学習館紙すき講座

講師：八木米太郎氏（名塩和紙学習館紙すき推進委員会）

場所：名塩和紙学習館実習室

参加人数：のべ36人

「本格紙漉きに挑戦！」

- 第1日 平成27年1月30日（金） 午後1時～3時30分
オリエンテーション／雁皮みしり
- 第2日 平成27年1月31日（土） 午前10時～午後3時30分
みずより・釜たき／ちりより・しかけ
- 第3日 平成27年2月1日（日） 午前10時～午後3時
抄紙／紙はき
- 第4日 平成27年2月3日（火） 午後1時～3時30分
板下ろし／和紙よもやま話

III 西宮市立郷土資料館条例および施行規則

1. 西宮市立郷土資料館条例

(昭和59年12月28日)

(西宮市条例第17号)

沿革

平成12年3月30日 条例59号 [1]

平成13年12月26日 条例20号 [2]

平成26年12月18日 条例28号 [3]

注 平成26年12月18日条例第28号の改正は、平成27年4月1日から施行のため、本文に直接改正を加えず付則末尾に参考として改正文を掲載いたしました。

(設置)

第1条 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料の収集、保管、展示等を行い、もつて市民の教育、文化の向上に資することを目的として、西宮市立郷土資料館（以下「資料館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 資料館は、西宮市川添町15番26号に置く。

(分館) [2]

第2条の2 資料館の分館として名塩和紙学習館（以下「学習館」という。）を置く。 [2]

2 学習館は、西宮市名塩2丁目10番8号に置く。 [2]

(事業)

第3条 資料館は、次に掲げる事業を行う。

- (1) 郷土の考古、歴史、民俗等に関する資料（以下「資料」という。）の収集、保管及び展示並びに和紙実習等に関すること。
- (2) 資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (4) 博物館、学校その他の関係機関と相互協力を行うこと。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、第1条の目的を達成するために必要な事業

[2]

(職員)

第4条 資料館に、館長その他の職員を置く。

(観覧料)

第5条 資料館の観覧料は無料とする。ただし、西宮市教育委員会（以下「委員会」という。）が特に必要と認めるものについては、委員会が定めるところにより、観覧料を徴収することができる。

(使用の許可等) [2]

第6条 別表に掲げる学習館の施設を使用しようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。 [2]

2 委員会は、次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、使用を許可しない。

- (1) 公の秩序を乱し、又は善良な風俗を害するおそれがあるとき。
- (2) 施設等を破損し、又は滅失するおそれがあるとき。
- (3) 営利を目的とするとき。
- (4) 管理運営上支障があるとき。
- (5) その他委員会が使用を不相当と認めるとき。

[2]

(使用料の納付等) [2]

第7条 前条第1項の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、別表に定める使用料を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、使用料を減額し、又は免除することができる。〔2〕

2 既に納付した使用料は、返還しない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、その全額又は一部を返還することができる。〔2〕

（使用許可の取消）〔2〕

第8条 委員会は、次の各号のいずれかに該当するときは、第6条第1項の許可を取り消すことができる。

- (1) 第6条第2項各号のいずれかに該当するとき。
- (2) この条例又はこの条例に基づく委員会規則に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の行為により許可を受けたとき。
- (4) 前3号に定めるもののほか、公益上委員会が特に必要と認めるとき。

〔2〕

（使用権の譲渡等の禁止）〔2〕

第9条 使用者は、学習館の使用の権利を他に譲渡し、又は転貸してはならない。〔2〕

（特別利用の許可）

第10条 資料の模写、模造、撮影その他特別利用をしようとする者は、あらかじめ委員会の許可を受けなければならない。〔2〕

（原状回復等）〔2〕

第11条 資料館の施設等を汚損し、破損し、又は滅失した者は、速やかにこれを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない事由があると認めるときは、賠償の額を減免することができる。〔2〕

（入館の制限）〔1〕

第12条 委員会は、次の各号のいずれかに該当する者については、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

- (1) 公の秩序、善良な風俗その他公益を害し、又はそのおそれがある者
- (2) 建物、設備、資料等を損傷し、又はそのおそれがある者
- (3) 営利を目的とする行為をし、又はそのおそれがある者
- (4) その他管理上必要な指示に従わない者

〔1〕〔2〕

（規則への委任）

第13条 この条例の施行について必要な事項は、委員会規則で定める。〔1〕〔2〕

付 則

この条例は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則（平成12年3月30日西宮市条例第59号〔1〕西宮市立図書館条例等の一部を改正する条例3条による改正付則）

この条例は、平成12年4月1日から施行する。

付 則（平成13年12月26日西宮市条例第20号〔2〕）

この条例は、平成14年4月1日から施行する。

付 則（平成26年12月18日西宮市条例第28号〔3〕）

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

〔参考〕平成26年12月18日条例第28号により改正され、平成27年4月1日から施行

第13条を第14条とし、第8条から第12条までを1条ずつ繰り下げ、第7条の次に次の1条を加える。

（実習費の納付等）

第8条 使用者が学習館において、和紙実習の指導を受けるときは、委員会規則で定める実習費を納付しなければならない。ただし、委員会において特別の理由があると認めるときは、実習費を減額し、又は免除することができる。

別表備考を次のように改める。

備考

- 1 使用者が本市住民以外の者である場合の使用料は、この表に規定する額の倍額とする。

2 冷房又は暖房を行う場合にあつては、この表に規定する額の2割に相当する額を加算する。

別表（第6条、第7条関係）

[2]

学習館使用料

区分		午前9時から正午まで	午後0時30分から午後5時まで
施	実習室	1,000円	1,300円
設	集会室	1,000円	1,300円

備考 使用者が市外居住者である場合の使用料は、本表に規定する額の倍額とする。

2. 西宮市立郷土資料館条例施行規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第11号)

沿革

平成14年2月12日 西教委規則16号 [1]

平成27年2月4日 西教委規則13号 [2]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。)の施行について別に定めるもののほか、必要な事項を定める。

(観覧料)

第2条 条例第5条に規定する観覧料については、教育長が定める。

(学習館の施設) [2]

第3条 条例第6条第1項に定める名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)の使用内容及び使用人数は、別表第1のとおりとする。
[2]

(特別利用)

第4条 資料の模写、模造、撮影等館内において特別利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、条例第11条の規定により、特別利用許可申請書を西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)に提出しなければならない。[1] [2]

- 2 委員会が特別利用を許可したときは、特別利用許可書を交付する。
- 3 特別利用は、所定の場所において館長の指示に従って行わなければならない。
- 4 委員会は、第2項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(館外貸出し)

第5条 資料の館外貸出しは、他の資料館、博物館、学校その他委員会が適当と認めるもののほか、受けることができない。[2]

- 2 資料の館外貸出しを受けようとするものは、条例第11条の規定により館外貸出許可申請書を委員会に提出しなければならない。
[1] [2]
- 3 委員会が資料の館外貸出しを許可したときは、館外貸出許可書を交付する。
- 4 資料の館外貸出しの期間は、1月以内とする。ただし、委員会が認めたときは、この限りでない。[2]
- 5 委員会は、第3項の許可をする場合において、必要な条件を付することができる。

(学習館の使用許可申請) [1]

第6条 条例第6条第1項の規定により学習館の施設を使用しようとする者は、学習館使用許可申請書(以下「申請書」という。)を委員会に提出しなければならない。[1] [2]

(学習館の使用許可) [1]

第7条 委員会は、学習館の使用を許可したときは、学習館使用許可書(以下「許可書」という。)を交付する。[1] [2]

(学習館の許可書の提示) [1]

第8条 使用者は、学習館を使用するときは、許可書を館長に提示し、その指示を受けなければならない。[1] [2]

(実習費) [2]

第9条 条例第8条の実習費は、別表第2のとおりとする。[2]

(特別利用等の制限)

第10条 つぎの各号の一に該当するときは、特別利用および館外貸出しを許可しない。

- (1) 現に資料が展示されているとき。
- (2) 特別利用または館外貸出しにより資料の保存に影響があるとき。
- (3) 著作権者のある資料で、著作権者の同意を得ていないとき。
- (4) 寄託された資料で、寄託者の同意を得ていないとき。
- (5) その他委員会が、不適当と認めたとき。

[1] [2]

(特別利用の取消し等)

第11条 委員会は、特別利用または館外貸出しの許可を受けたものが、許可の条件に違反したときもしくはそのおそれがあるときまたは館の運営上必要があると認めるときは、特別利用または館外貸出しの許可を取消し、停止し、または資料の返還を命じることができる。

[1] [2]

(資料の寄贈および寄託)

第12条 資料を寄贈または寄託しようとする者は、委員会に申出なければならない。[1] [2]

2 委員会は、館の運営上必要があると認めるときは、前項の申出を受けることができる。

3 受託期間は、1年以上とする。

4 受託資料は、特別の契約がある場合のほか、市所有のものと同様の取扱いをする。

(学習館使用料の減免申請) [1]

第13条 条例第7条第1項ただし書の規定により、学習館の使用料の減額又は免除を受けようとする者は、申請書にその旨を記載し、委員会の承認を受けなければならない。[1] [2]

(学習館冷暖房費の減免) [1] [2]

第14条 前条の規定により学習館の使用料の減額又は免除を受けた使用者については、条例別表備考2に規定する加算額を減額し、又は免除する。[1] [2]

(学習館実習費の減免) [2]

第15条 第13条の規定により使用料の減額又は免除の承認を受けた使用者は、実習費を減額し、又は免除する。[2]

(休館日及び開館時間) [1]

第16条 資料館の休館日及び開館時間は、別表第3のとおりとする。[1] [2]

2 前項の規定にかかわらず、委員会が特に必要と認めるときは、休館日及び開館時間を変更することができる。[1] [2]

(委任)

第17条 この規則に定める申請書その他の書類の様式およびこの規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。[1] [2]

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (平成14年2月12日西教委規則第16号 [1])

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

付 則 (平成27年2月4日 西教委規則第13号 [2])

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

別表第1 (第3条関係)

[1] [2]

区分	使用内容	使用人数
実習室	和紙実習等	10人以上40人以内
集会室	和紙の学習又は名塩紙の愛護啓発事業等	10人以上150人以内

別表第2 (第9条関係)

[2]

使用人数	実習費
10人から16人まで	2,500円
17人から24人まで	5,000円
25人から40人まで	7,500円

備考 使用者が本市住民以外の者である場合の実習費は、この表に規定する額の倍額とする。

別表第3（第16条関係）

[1] [2]

施設名	休館日	開館時間
資料館（学習館を除く。）	西宮市教育文化センター管理規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第9号)に定めるところによる。	西宮市教育文化センター管理規則に定めるところによる。
学習館	1. 月曜日 2. 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで	午前9時から午後5時まで。 ただし、入館は午後4時まで

3. 西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館管理運営要綱

(平成14年3月27日)

(趣旨)

第1条 この要綱は、西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号。以下「条例」という。)及び西宮市立郷土資料館条例施行規則(昭和60年西宮市教育委員会規則第11号。以下「規則」という。)に基づき、西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館(以下「学習館」という。)を社会教育施設として広く市民の利用に供するために必要な事項を定める。

(施設等の定義)

第2条 この要綱において、施設とは条例別表の各室の他、学習館に備付けの備品等をいう。

(使用各室の定義)

第3条 各室の定義は、別表第1のとおりとする。

(使用制限)

第4条 条例第6条第2項に該当するほか、次の各号に該当するときは使用を許可しない。

- (1) 社会教育法(昭和24年法律第207号)第23条に該当するとき。
- (2) 施設使用において、使用人数が4人以下のとき。ただし、実習指導を伴うときは、使用人数が9人以下又は41人以上のとき。
- (3) 学校園の実習指導にあつては、1回に行う実習の人数が41人以上のとき。
- (4) 飲酒・飲食を主たる目的とするとき。
- (5) 小学生以下の者だけの使用で、保護者等の同意書又は付添いのないとき。
- (6) 近隣に迷惑がおよぶおそれがあるとき。
- (7) その他、教育委員会が使用を不相当とみとめるとき。

(使用受付期間)

第5条 使用許可申請の受付は、使用しようとする日の属する月の2月前の初日から末日までとする。

2 使用許可の決定は、紙すき実習指導及び名塩和紙に関する学習等の施設使用許可決定の後に、その他の施設使用の許可決定を行う。

(冷房器・暖房器の使用期間)

第6条 冷暖房器の使用期間は原則として、暖房器は1月から6月まで及び10月から12月までとし、冷房器は7月から9月までとする。

(使用料・弁償金の納付)

第7条 条例第7条第1項の規定による使用料の納付は、市が指定する金融機関で規則第6条に規定する使用許可書の交付日から10日目を納期限とする。ただし、納期限の当日が当該金融機関の休業日のときは、翌営業日とする。

2 規則第12条第1項に定める冷暖房費用の弁償金(以下「弁償金」という。)の納付については、規則別表第1の額を前項に定める使用料と同じ方法・時期で納付しなければならない。

3 すでに納付した弁償金は、返還しない。ただし、教育委員会(以下「委員会」という。)において特別の理由があると認めるときは、その一部又は全額を返還することができる。

(使用料及び弁償金の減額または免除の率)

第8条 規則第11条により使用料の減免申請があつた場合には、以下の区分及び率により行う。

- (1) 市、委員会又は西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館紙すき推進委員会(以下、「推進委員会」という。)が主催する行事に使用するとき 10割
- (2) 市内に在住、在学又は在園する生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 10割
- (3) (2)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 5割
- (4) 市内に在住し、在学又は在園しない生徒、児童又は幼児が半数以上を占める団体が土曜日を除く平日に使用するとき 5割
- (5) (4)に該当する団体が土曜日及び、平日以外に使用するとき 3割
- (6) 身体障害者手帳、療育手帳又は戦傷病者手帳の交付を受けている者が半数以上を占める団体が使用するとき 10割
- (7) その他委員会が特別の理由があると認めるとき 委員会が相当と認める率

2 規則第12条第2項による弁償金の減免については、前項の区分及び率により行う。

(実習指導と実習指導負担金の納付)

第9条 学習館で、紙すき実習指導（以下「指導」という。）を受けるときは、規則第5条に基づく使用許可申請の際にその旨を記載し許可を受けなければならない。

2 指導の許可を受けた者は、別表第2に規定する額（以下「負担金」という。）を第7条第1項に定める使用料等と同じ方法・時期で納付しなければならない。

(実習指導負担金の減額及び免除)

第10条 規則第11条による使用料の減額又は免除を受けた使用者が紙すき実習指導を受ける場合には、前項に定める負担金を、減額し、又は免除する。

2 負担金の減額及び免除の区分及び率は、第8条第1項に準拠する。

(使用料、弁償金及び負担金の還付)

第11条 使用料、弁償金及び負担金の還付は、次の各号に掲げる区分及び率による。

(1) 使用者の責に帰することができない理由により使用できなくなったとき 10割

(2) その他委員会において特別の理由があると認めたとき 委員会が相当と認める率

(使用料、弁償金及び負担金の還付申請)

第12条 使用料、弁償金及び負担金の還付を受けようとする者は、和紙学習館過誤納還付申請書を委員会に提出しなければならない。

(推進委員会への委託)

第13条 学習館の紙すき実習指導をするために必要な事項を「西宮市立郷土資料館分館名塩和紙学習館名塩和紙紙すき推進委員会」（以下「推進委員会」という。）に委託する。

(推進委員会規約)

第14条 推進委員会は、次に掲げる項目について規約を定め、委員会に報告しなければならない。

- (1) 設置目的及び事業内容
- (2) 設置場所
- (3) 役員、職員に関すること
- (4) 実習指導員、実習準指導員及び助手に関すること
- (5) 推進委員会の会議運営に関すること
- (6) 会計及び監査に関すること
- (7) 規約の改正に関すること
- (8) その他細目に関すること

(実習指導報償費)

第15条 委員会は、実習指導員、実習準指導員及び助手が実習指導等を行ったときは、推進委員会からの報告に基づき、それぞれに対し実習指導報償費を翌月に支払うものとする。

(委任)

第16条 この要綱に定める申請書その他の書類の様式及びこの要綱の施行についての必要な事項は、教育長が定める。

付 則

この要綱は、平成14年4月1日より施行する。

この要綱は、平成22年4月1日に一部を修正し施行する。

この要綱は、平成24年4月1日に一部を修正し施行する。

別表第1 (第3条関係) 使用各室の定義

室 名	定 義
集 会 室	会議、実技等多目的に使用する部屋
実 習 室	紙すき実習を主たる目的に使用する部屋

別表第2

使 用 人 数	実習指導負担金額
10人から16人まで	11,000円
17人から24人まで	13,500円
25人から40人まで	16,000円

備考 使用者が市外居住者の場合の負担金は、本表に規定する額の倍額とする。

4. 西宮市教育文化センター管理規則

(昭和60年3月25日)
(西宮市教育委員会規則第9号)

沿革

- 昭和63年7月25日 西教委規則5号 [1]
- 平成4年7月16日 西教委規則3号 [2]
- 平成11年5月11日 西教委規則3号 [3]
- 平成12年3月31日 西教委規則19号 [4]
- 平成13年4月10日 西教委規則2号 [5]
- 平成16年1月14日 西教委規則8号 [6]
- 平成18年3月8日 西教委規則12号 [7]
- 平成19年3月14日 西教委規則15号 [8]
- 平成21年3月11日 西教委規則13号 [9]

(趣旨)

第1条 この規則は、西宮市立図書館条例(昭和36年西宮市条例第3号)により設置された西宮市立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び西宮市立郷土資料館条例(昭和59年西宮市条例第17号)により設置された西宮市立郷土資料館(以下「資料館」という。)の管理に関して、別に定めるもののほか、必要な事項を定める。 [5] [9]

(教育文化センター)

第2条 この規則においては、中央図書館及び資料館により構成される施設を総称して、西宮市教育文化センター(以下「センター」という。)という。 [9]

(開館時間)

第3条 センターの開館時間は、次のとおりとする。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則(昭和59年西宮市教育委員会規則第10号)に定めるところによる。
- (2) 資料館 午前10時から午後5時まで。ただし、入館は午後4時30分まで

[1] [3] [7] [8] [9]

2 前項の規定にかかわらず、西宮市教育委員会(以下「委員会」という。)が特に必要があると認めたときは、開館時間を変更することができる。 [5] [8]

(休館日)

第4条 休館日は、次のとおりとする。ただし、委員会が特に必要があると認めたときは、臨時に休館し、又は変更することができる。

- (1) 中央図書館 西宮市立図書館条例施行規則に定めるところによる。

- (2) 資料館

ア 毎週月曜日

イ 1月1日から1月4日まで及び12月29日から12月31日まで

[1] [2] [5] [6] [8] [9]

(遵守事項)

第5条 センターに入館した者は、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 他人に危害をおよぼし、または迷惑となる行為をしないこと。
- (2) 資料、展示品等を損傷し、汚損し、または滅失しないこと。
- (3) センターの管理上支障となる行為をしないこと。

[4]

2 資料館に入館した者は、前項に掲げるもののほか、つぎの事項を遵守しなければならない。

- (1) 展示品の近くでインク、墨等を使用しないこと。
- (2) 特に指定したものを除き、展示品に触れないこと。
- (3) 委員会の許可を受けずに資料および展示品の模造、模写、撮影等を行わないこと。

[9]

(原状回復等)

第6条 センターの施設、設備または資料、展示品を損傷し、または滅失した者は、それを原状に復し、または委員会が相当と認める損害額を賠償しなければならない。 [4]

(教育長への委任)

第7条 この規則の施行について必要な事項は、教育長が定める。 [4]

付 則

この規則は、昭和60年4月1日から施行する。

付 則 (昭和63年7月25日西教委規則第5号 [1])

この規則は、昭和63年9月1日から施行する。

付 則 (平成4年7月16日西教委規則第3号 [2])

この規則は、平成4年8月1日から施行する。

付 則 (平成11年5月11日西教委規則第3号 [3])

この規則は、平成11年6月1日から施行する。

付 則 (平成12年3月31日西教委規則第19号 [4])

この規則は、平成12年4月1日から施行する。

付 則 (平成13年4月10日西教委規則第2号 [5])

この規則は、平成13年4月20日から施行する。

付 則 (平成16年1月14日西教委規則第8号 [6])

この規則は、平成16年2月1日から施行する。

付 則 (平成18年3月8日西教委規則第12号 [7])

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

付 則 (平成19年3月14日西教委規則第15号 [8] 西宮市立図書館条例施行規則及び西宮市教育文化センター管理規則の一部を改正する規則2条による改正付則)

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

付 則 (平成21年3月11日西教委規則第13号 [9])

(施行期日)

第1条 この規則は、平成21年4月1日から施行する。

(西宮市立市民ギャラリー管理運営規則の廃止)

第2条 西宮市立市民ギャラリー管理運営規則 (昭和59年西宮市教育委員会規則第3号) は、廃止する。

西宮市立郷土資料館報 平成 26 年度 (2014)

編集・発行 西宮市立郷土資料館

兵庫県西宮市川添町 15 番 26 号

郵便番号 : 662-0944

電話 : 0798-33-1298

internet pages : <http://www.nishi.or.jp>

発行年月日 平成 27 年 (2015 年) 7 月 31 日